

11.15

市議の選択

日本共産党

子どもたちに 安全で平和な 舞鶴を

高市政権が膨大な予算をつぎ込んで進める「大軍拡」。その一方、暮らしを支える年金や介護・医療、障害者福祉など社会保障のサービスがどんどん低下し、負担が増やされています。困っている方に食糧を無償提供する取り組みには、多くの市民がおこしになります。

舞鶴市政も国や府の言いなりに切り捨てています。「大軍拡」と暮らし・平和は共存できない——市議会で、こうはつきり言う議員は共産党の議員だけです。

みなさまのご支援で2期8年、頑張ることができました。これ以上、暮らしと平和を後退させるわけにはいかない。この思いで引き続き頑張ります。

みなさまの大きなご支援をよろしくお願いします。

自衛隊員の命も市民の命も全力で守ります

教え子を再び戦場に送らない

市会議員2期

こにし よういち

【生活相談担当地域】中筋、高野、池内、伊佐津（大内南以南）、白鳥街道南側（白鳥、丸山、森日の出、八反田）、行永、与保呂

トマホーク配備反対！

舞鶴を最前線基地にさせない



5.31ピースアクションin舞鶴

トマホークミサイルの配備、弾薬庫の増設、総監部の地下化……。舞鶴の海上自衛隊基地が、外国を攻撃する最前線基地にされようとしています。しかも、高市首相は日本を「戦争する国」に変える改憲まで宣言しています。

未来に生きる子どもたちのためにも、平和を求め続けます。

●プロフィール● 市議2期、党市会議員団幹事長。日本福祉大学社会福祉学部卒業後、小学校教諭36年（中筋小学校などに勤務）。舞鶴市教職員組合書記長・委員長、舞鶴地労協議長、原発ゼロ舞鶴の会代表など歴任。現在、党地区副委員長、党府委員。



2期8年
鋭く論戦



市政を動かす

「質問は議員の命」。議会のたびに欠かさず質問してきました。市長が代わっても「良いものは良い、悪いものは悪い」の立場で追及し、市政を動かしてきました。引き続き、みなさんの声を議会に届け、くらしと営業を良くするために全力を尽くします。

調査と論戦で水道料金の値上げストップ🚫

2023年年9月定例会で市の水道事業を調査。2024年度から13・5%もの大幅値上げの計画を発見。コロナ禍明け、物価高騰に苦しむ市民の実態を示して「値上げすべきでない」と主張しました。

「値上げしない」の答弁を引き出す → 8億円の市民負担増をくい止めた

12月定例会でも、引き続きねばり強くこの問題を追及。共産党だけが取り上げるなか、市の理事者から「値上げはしない」との答弁を引き出しました。前年の営業収益比で2億円、4年間で計8億円の市民負担増を食い止めました。

さらに、基本料無料化で引き下げを提案 → 10カ月分の無料化実現

コロナ禍から国の交付金を利用して水道料金の引き下げを提案。令和7年で2カ月分、令和8年で8カ月分、計10カ月分（1世帯当たり6,400円分）の無料化を実現しました。

学校給食の無償化で積極提案

10年前から議会のたびに求めてきた無償化。「中学校から実施すべき」と提案。府内の市で初、中学校（24年2学期から）で実現。小学校（25年3学期から）にも広がり、物価高のなか大変喜ばれています。市長も「共産党議員団のみなさんには常に背中を押していただき感謝」と答弁しました。

議員になる前から子どものために全力

教職員組合の役員時代、父母のみなさんと一緒に「教室にクーラーを！」「運動会にテントを！」と市に要望。議員団の粘り強い追求で府内でも早くに全教室にエアコンが設置されました。運動会での児童・生徒用の日よけテントは、今では当たり前になっています。

はっきりものを言い
しっかり働く

日本共産党3議員で、

みなさんと市政を動かし

くらしも平和も
守ります



● 物価高騰、物不足から、暮らし生業を守ります

- ・消費税を全ての品目で一律5%に引き下げ、インボイスの廃止、最低賃金の引き上げ。中小事業者への直接支援の充実
- ・国保料の値上げストップ、均等割りの廃止をもとめます
- ・農産物の価格保障と所得補償で、持続可能な農業を。備蓄米の買い戻しで、米の下落をストップし、消費者価格を下げるため政府が補填を

● 高齢者の補聴器購入への補助金制度の創設 タクシーチケットなど外出支援制度の充実

● 公的4病院の統合問題

医師確保、診療科の充実はどうしても必要
安心できる医療体制の確立を

● 体育館のエアコン設置計画を 前倒しで、災害に強いまちづくりを進めます

● 温かい中学校給食の実現を

● 自衛隊基地の強化に反対し、 市民の命、暮らし最優先のまちづくりへ

